

取付説明書

このたびは当社製品をお買い上げ頂きまして、ありがとうございます。

本製品を取付け及び取扱う上で、いくつかの注意点がございます。

安全かつ快適にご使用になっていただくため、

取付け作業前に必ず本書を熟読し、部品を確認し理解した上で作業して下さい。

☆部品が間違っていたり取付け方法が分からない場合は、ご遠慮なく速やかにご連絡ください。

☆販売店様へのお願い……この取付説明書は、必ずお客様にお渡しください。

取付け及び取扱いについて



危険

●マフラー周辺は、エンジン運転時や停止直後は常に高温になります。バンパーの交換作業やボルトの増し締め作業は、マフラー周辺が十分冷めていることを確認の上、作業を行ってください。

●素手での作業は怪我の原因となります。必ず革手袋等で保護し、十分注意をして作業を行ってください。

●取付けが不完全ですと、外れて脱落する恐れがあり大変危険です。取付けは確実に行ってください。さらに取付け後は、定期的に各ボルト類が緩んでいないか点検を行ってください。ボルト類が緩んだまま走行を続けると、外れて脱落する恐れがあり大変危険です。また、製品本体や車体に対し損傷を与える原因にもなります。もし、ボルト類が緩んでいた場合は増し締めを行ってください。

●本製品や取り付け部にキレツ等を確認した場合は、すぐに使用を中止してください。



注意

●海水や道路凍結防止剤等、金属を強く腐食させる成分が付着した場合は、早めに水洗いをするなどお手入れをしてください。

●サビ等に関するクレームはお受けできませんのでご了承ください。

本製品の構成部品について

| | | | |
|---------------------|----|---------------------|----|
| ●取扱説明書 | ×1 | 【純正バックカメラ移設用】 | |
| ●ナンバー移動ベース | ×1 | ●バックカメラ用ステー | ×1 |
| ●カバー | ×1 | ●M5×12六角穴付ボルト | ×2 |
| ●ひの字型ステー | ×2 | ●M5セレート付きフランジナット | ×2 |
| ●ライセンスランプ用延長コード | ×1 | | |
| ●スパイラルチューブ4×6 (1m) | ×1 | 【ナンバープレート用】 | |
| ●M10ボルト (回り止めボルト) | ×1 | ●M6×20アブセットボルト3点セムス | ×2 |
| ●M6×15アブセットボルト3点セムス | ×4 | ●M6セレート付きフランジナット | ×2 |

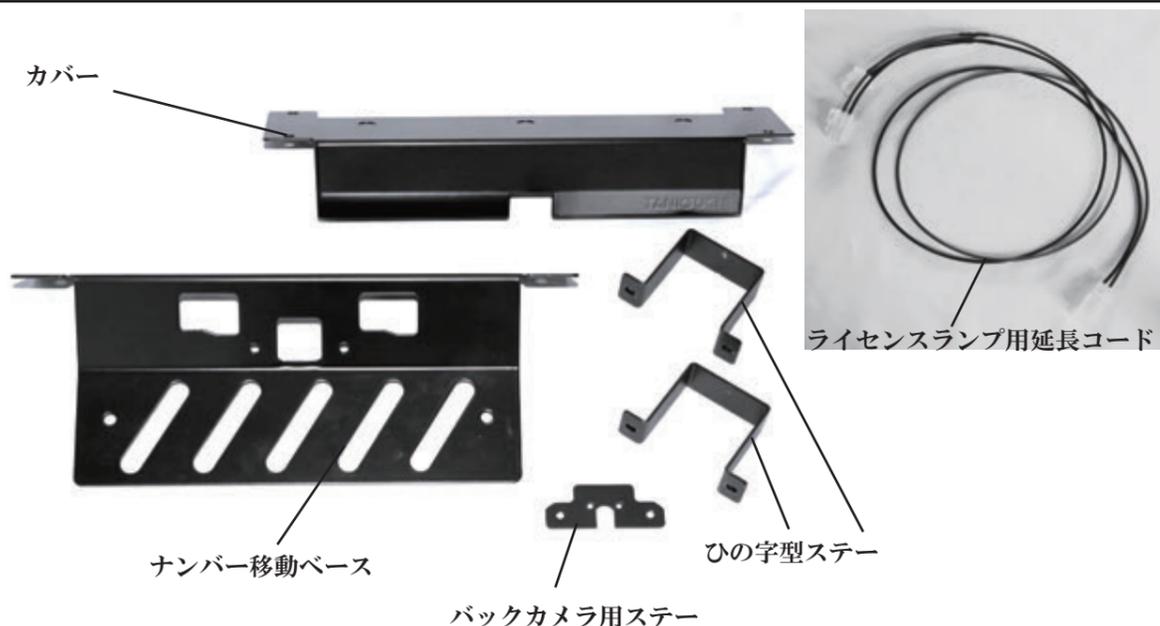


図1 ナンバー移動ベース 表



図2 ナンバー移動ベース 裏 M10ボルト位置

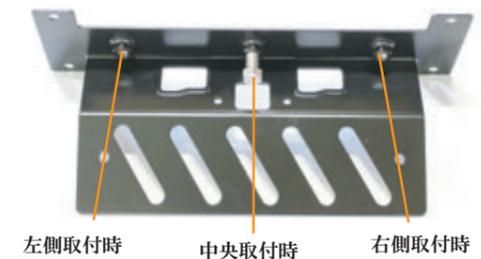


図3

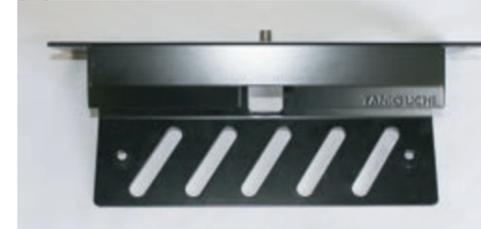


図4

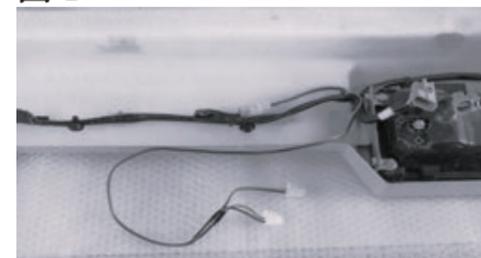


図5

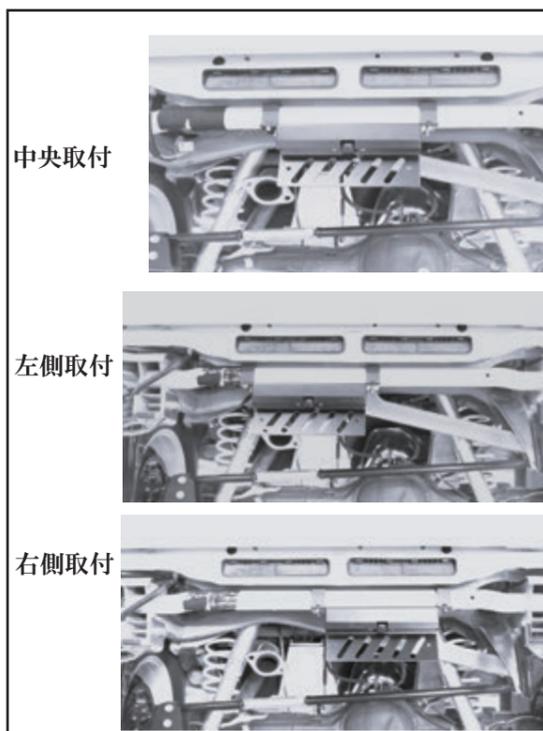


図6



- 純正リアバンパーに付属の純正ライセンスランプとナンバープレート、ハーネス等を取り外して下さい。(純正バックカメラ装着の場合はバックカメラも取り外して下さい。※付属のボルトは再使用します。)
- ナンバー移動ベースのセッティング
※セットする前にマフラー位置等を考慮しながらナンバーの位置を中央、右側、左側から選んで下さい。(※1)
 - 図1を参考にナンバー移動ベースに1で外した純正ライセンスランプを取り付けて下さい。
 - カバーをナンバー移動ベースの表からスライドしてセットし、図2を参考に回り止めボルトを締めて下さい。(図3参照)
 - 純正バックカメラを装着の場合は、1で外したバックカメラに純正ボルトを使ってバックカメラ用ステーを取り付け(※2)、ナンバー移動ベースの表からバックカメラのカプラーを通し、M5×12六角穴付ボルトとM5セレート付フランジナットで取り付けて下さい
- 図4を参考にライセンスランプの配線にライセンスランプ用延長コードを取り付けてスパイラルチューブで保護して下さい。
- 図5を参考にクロスメンバーにひの字型ステーをセットし、2でセットしたナンバー移動ベースの回り止めボルトをクロスメンバーの中央下部の穴に差し込むようにあてがい、M6×15アブセットボルトで取り付けて下さい。(図6参照)
- バックカメラの配線とライセンスランプの配線を接続して点灯するかチェックして下さい。
- 余った配線をタイラップ等で固定し、ナンバープレートをM6×20アブセットボルトとM6セレート付フランジナットで取り付けて下さい。

※1 ナンバー取付位置



※2 バックカメラ取付ステー装着図

